

# 札幌 市民防災

第26号

令和4年3月31日  
札幌市民防災団体連合会  
発行責任者 田畑 隆二

## 令和3年度 札幌市防災表彰式・ 札幌市自主防災講演会(中止)

新型コロナウイルス感染症拡大の状況において、昨年度に続き防災表彰式・自主防災講演会は中止になりました。

受賞者の皆様におかれましては、例年市内のホテルにて秋元克広市長様より、お祝いの言葉をいただいておりますが、今年度は各区長室にて区長様より表彰状の授与をいただきました。受賞されました体験を、地域活動へ広めていただきたいと思います。

また、今年はいままで体験したことのない大雪のため、除雪や道路の通行障害など、大変な日々を送っておりましたが、日差しも和らいで徐々に春が近づいて参りました。

来年度こそは、例年行っている行事が開催できるよう、連合会一同願っております。



### 安全・安心な地域づくり

札幌市長 秋元克広

札幌市民防災団体連合会の皆様におかれましては、日ごろから札幌市の防災行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

札幌市では、市民の模範となる自主防災活動を行った個人や団体の皆様を、平成11年度から毎年表彰させていただいており、受賞された団体は、今年度受賞された10団体を含め、現在までに248団体となりました。

札幌市防災表彰を受賞されました各団体の皆様におかれましては、日ごろから自主防災活動に熱心に取り組まれ、地域の安全・安心を守っていただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

地域には、町内会加入率の低迷や役員の高齢化、担い手不足など、様々な課題を抱えている現状がある中で、皆様には防災活動へもご尽力いただいているところです。

札幌市としましても、地域と企業等との橋渡しや防災教育の充実などにより、新たな防災の担い手育成にも取り組んでおります。

防災活動の活性化には、皆様方の「地域の力」が不可欠です。どうか、皆様方には、これまで積み重ねられてきた自主防災活動のさらなる活性化と、引き続き誰もが安全・安心に暮らすことができる地域づくりを進めていただくため、より一層、ご尽力くださいますようお願い申し上げます。

結びになりますが、札幌市民防災団体連合会におかれましては、今後益々のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げますとともに、引き続き札幌市の防災行政に特段のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

## 令和3年度 札幌市防災表彰団体

### 受賞団体

中央区	曙地区連合町内会	豊平区	月寒236町内会
北区	屯友会	清田区	清田第五町内会
東区	新道東町内会	南区	川沿中央第一町内会
白石区	白石区本通親和会	西区	山の手連合町内会
厚別区	下野幌町内会下野幌町内会	手稲区	手稲鉄北少年消防クラブ





## 自助・共助でつくる「安全で安心なまちづくり」

札幌市民防災団体連合会 会長 田 畑 隆 二

会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
 また、日頃より当会の活動につきまして、特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
 令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止による「緊急事態宣言」や「蔓延防止等重点処置」の延長など、新型コロナウイルスとの戦いの1年となりました。  
 会員の皆様におかれましても、地域防災活動の自粛制限され厳しい年であったと思います。  
 会員の皆様にご案内致しました、今年度の札幌市との共同開催で有りました「自主防災講演会」が中止となり大変に残念に思います。  
 講演の演題で有りました『地域防災の向上を目指して～自助・共助のあり方について～』は、近年多発する自然災害への対応や備え等、地域での防災活動の自助・共助の重要性が一層高まっているところです。  
 まだまだ続くと思われ、コロナ禍の中での地域活動に制限があると思われ、会員皆様の地域での活動が「安全・安心まちづくり」に繋がると思っております。  
 当会も、札幌市危機管理対策室との連携を更に深めながら、札幌市の防災情報の提供や広報紙「市民防災」の発行で、地域防災活動の発展を進めていきたいと思っております。  
 会員皆様におかれましても、コロナ禍では御座いますが感染拡大に充分ご注意をされ地域活動を進めて頂ければと思います。  
 今後共、札幌市民防災団体連合会の活動に、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 若き防災リーダーの育成に寄与した功績をたたえて ～令和3年度札幌市防災表彰伝達式～

令和4年2月4日(金)、手稲区役所で「令和3年度札幌市防災表彰伝達式」が行われました。  
 札幌市では平成11年度から毎年、自主防災強化のため市民と規範となる活動を行った個人や団体を市長から表彰しており、例年は表彰団体が一堂に会し表彰式を行っていますが、今年度は感染症拡大防止のため、各区役所で区長が市長に代わり表彰状を贈呈する「伝達式」の形式で執り行われました。  
 手稲区からは、手稲鉄北少年消防クラブが受賞し、代表して村上明代指導部長に土井勝雄手稲区長より表彰状が授与されました。  
 手稲鉄北少年消防クラブは、昭和63年に結成されてから33年に亘って、小学生から高校生の健全な育成と正しい防火・防災活動の知識、技術の習得を目的として、村上指導部長をはじめとする指導者の熱心な指導により、年間を通じて訓練や各種研修を計画的に行い多くの卒団生を輩出し、将来は地域の防災リーダーとなり活躍できる人材を育成しています。  
 令和3年度は、感染対策を施した中「ロープ結索及び規律訓練」「消火栓除雪」の実施や全国子ども防災作文コンクールでの最優秀賞の受賞などの活動を継続しております。  
 伝達式後には、区長室で土井区長や粕田手稲消防署長など区の関係者と村上指導部長により、クラブの活動や防災課題などについて、和やかな雰囲気の中で懇談が行われました。  
 村上指導部長からは「活動を続けるのが大変なこともあったが、続けていて良かったと実感している。今回の表彰は、クラブに所属する子どもたちや他の指導者にとっても良いモチベーションになる」とこやかに話していました。



## 新型コロナ禍が終息しない現在 電話やラインメール、除雪時の挨拶が地域の絆づくり

下野幌町内会長 松 山 瑞 穂

1951(昭和26)年に下野幌農事組合連合会という名称で発足した下野幌町内会は、10数年前から少子高齢化が進み、「福祉支え合い」活動を重要課題として取り組んできましたが、2011年3月の東日本大震災以降「防災・福祉支え合い」と活動が大きく変わってきました。



「自主防災会」を全町内会で組織し、さらに隣の下野幌中央町内会と老人クラブ《寿楽会》、地域の高齢者福祉施設《特養ホーム 青葉のまち》・《グループホーム夏桜》と連携して『あおば福祉推進協議会』を結成しました。この会の特徴は、地域住民が自主的に「いきいきサロン」を企画開催し、《青葉のまち》と《夏桜》の様々な行事にボランティア参加していることだと思います。  
 町内会役員は地域住民として2つのサロンに参加し、サロン開催費用は2つの町内会と、連携している特養ホーム青葉のまち、グループホーム夏桜からもいただいています。  
 町内会防災・福祉部を中心とした自主防災会は「要支援者」と「支援協力者」を募り、「防災・福祉支え合いマップ」を全家庭に配布しました。  
 自主防災会は、毎年定期的に、炊き出しや避難所での宿泊訓練などの「防災訓練」と、「要支援者への安否確認」を行っています。このような活動の中でも、ご高齢の住民が近くの野津幌川に落ちて亡くなる人や、夜1人で外に出て散歩の途中で自分の家が分からなくなる人、野津幌川に物を捨てに行く人などの事例が年に1度は起きています。  
 新型コロナが終息しない現在、残念ながらサロンを開催出来ませんので、電話やスマホメールでのやり取り、雪かき作業時の挨拶が唯一の会員同士の絆かも知れません。



2021年7月17日、下野幌会館で町内会防災会議と防災備蓄倉庫の点検



## 屯友会合同災害訓練

株式会社ケアセンター 専務取締役(防火・防災管理者) 白 勢 圧 志

この度は、私共「屯友会」が札幌市防災表彰団体に選出されたこと大変光栄に存じます。  
 私共「屯友会」は平成28年「特別養護老人ホーム七色の風」「札幌未来保育園」「グループホームふるさと」の3施設3社で結成されました。次の年には「有料老人ホームあろはうす」「グループホームハートの家七番館」を加え5施設4社での活動となり所属する町内会「屯田北自治会」「有朋高校」隣接する町内会「季実の里町内会」との合同災害訓練の実施へと発展いたしました。  
 私共が活動するきっかけとなったのが、その年の8月末の台風で岩手県のグループホームが洪水の影響で濁流に襲われ入所者9人全員が犠牲となり被害に遭われたすぐ横には鉄筋コンクリート3階建ての老人保健施設もあったという事です。  
 私共の立地は全てが隣接していて、強固な高い建物として鉄筋コンクリート4階建ての「七色の風」へと避難することを想定としています。避難をする全ての方が自力避難困難者です。町内会、北消防署、北消防団、全ての方々のご尽力を頂き成し遂げられています。訓練最後に行う総評で「特別養護老人ホーム七色の風」の理事長が言っておられた心に残る言葉で「この場所で良かった」。

## 令和3年度豊平区防災訓練の実施について

豊平区役所地域安全担当 係長 田 辺 道 郎

豊平区では、令和4年1月12日(水)、豊園小学校(豊平区美園1条4丁目)で「令和3年度豊平区防災訓練」を開催し、美園地区の住民や区内の各町内会連合会役員など約50人の方に訓練に参加いただきました。  
 今年度は、月寒断層を震源とする震度6の地震が発生したことを想定し、豊園小学校に避難所を開設し、新型コロナウイルス感染症対策を取り入れながら避難者の受付訓練を実施しました。  
 受付係は、検温を行いながら、車いすが必要な人や発熱者などの避難者の話を聞き取り、状況に応じて滞在スペースや感染症室への誘導などを行いました。  
 ※なお、本訓練の様子は、豊平区のホームページに動画で配信する予定です。





## 令和3年度 札幌市災害対策本部運営訓練

令和4年1月26日(水)、「令和3年度札幌市災害対策本部運営訓練」が市役所12階の札幌市災害対策本部で開催されました。

訓練は、市内で震度7の地震が発生した場合の想定で、被害状況の把握や物資輸送などの対応を学んだとのこと。今年度からは本部訓練の実施回数を増やし、職員の災害対応力の向上を図っていくそうです。

## 札幌災害外国人支援チームSAFE (Sapporo Assistance for Foreigners in Emergencies)

公益財団法人札幌国際プラザ 大高 紘 希

もしあなたが見知らぬ異国の地で災害に遭ったら、どんな気持ちになるでしょうか。

ことばが通じない、どこに避難すればいいのかわからないといった不安な気持ちになり、日本語で情報を探したり、日本語がわかる人や日本人を探して頼りたくなるのではないのでしょうか。

札幌国際プラザは、大規模災害時には札幌市との協定に基づき「災害多言語支援センター」設置し、多言語で情報を発信したり、避難所等を巡回して外国語で相談にのるなどの支援活動を行います。

しかし、一口に外国人といっても国籍や文化的背景が多様で、災害に対する知識や経験にも濃淡があります。それぞれが抱える課題を理解し「だれ一人取り残さない」支援を展開するには、当事者の視点が不可欠です。

そこで昨年度より、被災外国人が母国語で相談でき、適切な情報提供や支援につなげる橋渡しの役割を担う「札幌災害外国人支援チームSAFE」を立ち上げました。このチームは、札幌近郊に住む外国人を中心に構成されており、昨年度3回の研修と実地訓練を経て9か国18名の方をメンバーとして認定しました。

いまや外国人は、数年で帰る「来訪者」ではなく、「お隣さん」であり、地域の一員であり、札幌市民です。災害が多発する時代のなか、日頃から地域で顔のみえる関係を構築し、共に手を携え助け合う関係作りが必要とされています。



## 令和3年度 札幌市防災教育セミナー



令和4年1月7日(金)、市立小中学校の教職員などを対象とした「令和3年度防災教育セミナー」が札幌コンベンションセンターで開催されました。

文部科学省の森本安全教育調査官が講師に招かれ、「国における防災教育の動向や災害時に子ども達が自ら主体的に行動する力を育むための教育手法」をテーマに、ご自身の教員時代の経験も踏まえた講演がありました。参加者からは、とても参考になったとの声が多数寄せられたとのこと。

## 編 集 後 記

新型コロナウイルスも「まん延防止全国解除」され春休みに入り旅行、地域活動も新年度は各町内会総会を迎え新年度計画もうれしい多忙な年になるのではないのでしょうか。

今年こそは明るく住みよい町づくりをめざし、各町内会活動を通し多くの方々とお逢いする機会も多く成ります。今迄通りマスク着用し、健康には十分お気をつけて下さい。連合会研修会等でうれしい活動発表を期待しています。

お気付の点ご一報を。

副会長 広報部長 渡辺 恵美子 FAX・TEL 011-851-9583 番

印刷所 北晃社 斎加印刷所  
札幌市西区八軒1条東5丁目  
電話 011(631)1271